

## NSS会『勉強会・新春懇談会』



2015年2月24日(火) 滋賀県 雄山荘にて、日本ステージ安全協力会ことNSS会の『勉強会・新春懇談会』を開催しました。協力会社から25名、日本ステージより14名の計39名と近畿労務安全衛生研究所より玉泉氏をお招きし安全について学びました。

### 『労働安全衛生法について』

近畿労務安全衛生研究所 所長 玉泉孝次さま

事故や安全衛生の歴史から始まり、安全衛生関係法令、とくに『元請け』となる場合に講ずべき措置、元請け責任の重さについて解説していただきました。さらには現場教育の重要性やリスク管理における書面管理の仕方も講義をしてくださいました。梯子や脚立作業、舞台上といった一見高所作業でないような1m前後の高さでなぜヘルメット着用が必要なのか、という点も物理数式と頭蓋骨が割れる衝撃力を比べた、分かりやすい事例で解説していただきました。

### 『NSS会の皆さんへのお願い』

大阪技術部顧問 中村清

以前の職場である建設会社での経験を基に安全に対する意識と徹底することの重要性、そして安全教育の必要性を講義しました。そこではKY活動(危険予知活動)からATKY活動(積極的な危険予知活動)への取り組み内容も紹介しました。その後、日本ステージの安全理念・安全行動方針を改めて取り上げたうえで、もう一度この基本に立ち返ることを提言しました。

### 『日本ステージ安全衛生向上委員会 報告』

東京技術部 設計技術監理課/イベント施工課 寺島亮輔

1月末に行われた安全衛生向上委員会総会の資料を基に、『2014年度活動報告』、『事故分析統計』を発表しました。また、昨年実施されたヒヤリハットアンケートの発表、2015年度活動目標を発表し、NSS会と安全衛生向上委員会とが互いに連携しあい安全現場になるようご協力を要請しました。

### 『安全講習会を終えて』

先日、現場作業中に協力会社職人から注意を受けました。「前回の事故からまた改善されていないですね。そういうところです。」今回のNSS会勉強会に出席し、改めてその言葉を思い返しています。やった気になってしまっていないか。勉強した気になっていないか。誰かのせいにして終わらせていないか。【やるべきことはまず協力会社からではなく日本ステージから。】安全講習会を終えて強く思います。大阪技術部 設計技術監理課/井上啓輔